

大豆NEWS!

vol.1

油断大敵

～1999年アイオワ州食品大豆説明・商談・懇談会開催される！～

11月17日、東京のパレスホテルで「1999年アイオワ州大豆説明・商談・懇談会」が開催されました。

この説明会は、日頃のアイオワ産大豆のご愛顧の御礼、食品用大豆の品質と安全性に関する生産サイドの情報提供説明、商談を目的として開催されたものです。

アイオワ州からは州政府経済開発局国際本部長、州農務長官、州大豆協会専務理事、州立大学農学部教授、輸出業者等が来日し、日本側は、輸入業者、加工業者等で、180名が参加しました。

説明会では、高蛋白品種（ピントン並）や極小粒品種（100粒重8g以下）などの食品用大豆の新品種の紹介、アイオワ州における有機農産物の基準に関する新法案、Non-GMO大豆のバラ保管・輸送の実際とコスト、GMOに関するヨーロッパその他の国における表示問題について講演が行われるとともに、輸出業者の紹介と商談が行われました。

いずれの演題も、我が国の流通業者、加工業者にとって関心のある事項で、アイオワ州の熱意と日本の大豆事情に関する知識の深さを感じさせるものでした。米国農務省（USDA）の公表によると、本年産のアイオワ州の作柄は、平均単収302kg/10aという豊作であり、売込み活動にも一層、力が入っていると考えられます。さらに、12月2日にはアメリカ大豆協会が同趣旨の会合の開催するとの情報も得られています。

日本でも、米や園芸作物では、知事や経済連会長が出席する求評会、市場関係者との懇談会を実施している県が多いと聞いておりますが、大豆についても同様の取組を行っていくことが流通業者、加工業者の国産大豆利用を拡大していく上で必要であると痛感したところです。

創刊 大豆NEWS!

農林水産省畑作振興課より、大豆をめぐるホットな話題を素早く生産現場の皆様にお届けするため、本日づけで大豆NEWSを発行いたします。厳しい情勢の中でも、国産大豆を応援するための前向きなNEWSを目指しておりますので、お知り合いの大豆関係の方にも、是非、ご回報下さい。

発行：不定期

発行元：農林水産省畑作振興課 豆類班 tel 03-3502-8111

内線 E-mail

豆類班長 鈴木良典 4333 yoshinori_suzuki@nm.maff.go.jp

農産園芸専門官 河合亮子 4318 ryoko_kawai@nm.maff.go.jp

大豆企画係長 後藤 寿 4319 hisashi_gotou@nm.maff.go.jp

大豆指導係 一関英樹 " hideki_ichinoseki@nm.maff.go.jp

- ・記事や大豆生産振興に関するご質問・ご感想など、ご自由にお寄せ下さい
- ・記事を転載される場合は、ご一報下さい。